

令和3年度 中央区立明石幼稚園 外部評価報告書

評価委員：守本利雄、石井吉郎、矢田雄滋、箱守由記、桑原洋一、牛嶋智春、中川理巳
須田桐美、渡辺幸雄、岩上芳照（敬称略）

評価時期 令和4年2月

今年度も、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症予防対策のため、学校評議員会を資料配付にて実施し、その後、評価委員の皆様からご意見・ご感想をいただいた。

1 重点目標の評価

- ・回収率は今年度も100%となっている。評価が全体的に高く、目標が達成できていると受け止められた。一方で、コロナ禍にあっては以前のように生の教育を拝見できず、歯痒い気持ちで過ごしている。
- ・保護者と元気に登園する姿や園だよりを通して園の具体的な教育を思い浮かべることができた。改めて、園だよりは、その時々々の明石幼稚園の教育をタイムリーに発信する力を持ち、在園児の保護者と園に関わる様々な人をつなぐ役割を果たしていることを感じた。
- ・開園90周年記念行事は、コロナ禍で園行事を中止や縮小せざるを得ない中、在園児にとって思い出に残る貴重な共通体験となった。周年記念ミニコンサート、周年を祝う会等の行事や、園旗がデザインされたバンダナや笑顔がいっぱいの周年記念誌等の周年の記念品は、子どもたちや保護者、園に関わる様々な方々の心の中で、輝き続けることを願っている。
- ・地域の行事も中止の状況が続いているが、一日も早く再開出来ますようにと思っている。
- ・様々な個別意見については、参考にしつつ今後の改善につなげていくと良いと思う。コロナ禍のため、保護者が参加しての活動が制約を受けていることで保護者の理解が必ずしも十分でないと考えられる。保護者間のコミュニケーションが限られていることも一因かと思われる。少人数でも保護者の参加による活動を増やすと良いのではないか。

2 今後の改善に向けた意見

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策はまだ先行きが不透明だが、園生活の楽しみの機会が失われることのないよう、子どもたちのために今後も工夫を凝らし、教育活動の充実に努めていかれることを応援している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策については、保護者と連携して手洗い、消毒の確認、危機管理をしっかりしていく必要がある。危機管理については、現状に慣れ、現状維持を図るのではなく、その時々々の感染の広がり方やウイルスの種類、子どもたちへの影響等について状況を随時把握していくことに努め、より効果的で能率的な対策改善を図ってほしい。